

## 投資事業評価調書(新規)

部課室名	県土整備部土木局 道路建設課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路建設課長 宮川 耕二 (課長補佐兼橋梁係長 高瀬 陽太郎)	内線	4 3 6 2 ( 4 3 7 8 )
------	-------------------	---------------------	------------------------------------	----	------------------------

事業種目	道 路	事業名	事業区間	総事業費	約9.6億円
		道路改築事業 (主)中柏原線	氷上郡山南町谷川～ 氷上郡山南町岡本	内用地補償費	約2.8億円
所在地			事業採択予定年度	着工予定年度	完成予定年度
氷上郡山南町谷川～氷上郡山南町岡本			平成17年度	平成17年度	平成22年度
事業目的			事業内容等		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本路線は、多可郡中町を起点に氷上郡柏原町に至る丹波地域と北播磨地域を結ぶ主要な幹線道路である。</li> <li>・幅員狭小区間の解消を図り、自転車歩行者の安全と円滑な車両の通行を確保する。</li> <li>・防災・医療福祉等の緊急輸送路としての機能向上と旧町間を連携強化し、合併後のまちづくりを支援する。</li> </ul>			道路改築(バイパス) L=550m(うち橋梁部L=96m) 現況幅員: W=4.0(5.0)m 計画幅員: W=6.0(10.0)m 車線+片側歩道(2.5m) 現況交通量: 3,114台/日 計画交通量: 3,300台/日		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性 安全・安心の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沿線の両側に民家や商店が張り付く幅員狭小区間であり交通事故の危険性が非常に高く、さらに通学路であることから自転車歩行者の安全確保と、円滑かつ安全な車両の通行を確保する。</li> <li>・当該区間は、緊急輸送路として位置づけられているため、バイパス整備により防災面の強化等緊急輸送路としての機能向上を図る。</li> </ul>				
暮らしと交流を支える	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柏原町と山南町の中心部を結ぶ唯一の県道であり、最後に残る未改良区間を改良することにより、新市の地域間交流、連携の強化、産業等の地域振興に寄与する。</li> <li>・当路線から谷川駅までのアクセスとなる町道も整備を予定しており、これら道路網を一体的に整備することで地域ネットワークの醸成を図る。</li> </ul>				
地域ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山南町勢振興計画では、次世代に引き継ぐ基盤づくりとして、本路線の改良を主要施策として掲げると共に、新市建設計画でも、連携・交流を促進する交通基盤整備に取り上げ、道路整備の推進を図ることを強く求めている。</li> </ul>				
(2)有効性・効率性 有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・費用便益比 <math>B/C = 1.5</math></li> </ul>				
代替性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現道拡幅は、沿道に民家・商店が連但しているため多大な費用を要する。このため物件移転数が少なく、かつ周辺道路網にスムーズに接続する本バイパスが最適なルートである。</li> </ul>				
効率性 (事業執行環境)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通学児童の安全確保のため山南町および地元自治会から早期整備を強く望まれており、整備に向けた地元協力の承諾を得ていることから円滑な事業執行が図られる。</li> </ul>				
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通過交通がバイパスに転換されることにより、現道沿い集落の生活環境の改善が図られる。</li> </ul>				
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該路線においては、通行困難箇所であった奥野々峠および玉巻跨道橋が改良されたため、交通量が増加し、自転車歩行者の早期安全確保が望まれている。</li> <li>・地元住民との合意形成を踏まえ平成17年度より事業着手し、平成16年11月1日に誕生した新市丹波市のまちづくりを支援する。</li> </ul>				